

磐城時報

石城郡石城郡平町掛屋町十四
印刷所 加納活版所
印刷部 加納活版所
電話 二二二
代印 加納活版所
代刷 加納活版所
代組 加納活版所
代刷 加納活版所
代組 加納活版所
代刷 加納活版所
代組 加納活版所
代刷 加納活版所
代組 加納活版所

井上野崎兩縣議と共に 鹿島村で救済陳情

大火以來疲弊その極に達す

目下着工しつゝある石城郡山間全村の約七分が細農者または失業者、石住六ヶ農村貧困者救済江名、豊間各漁村に販賣して辛道路十九個所改修工事は昨報のふして食を續けてゐたが、昭和如く一日平均約三百五十人の貧四年二月数百町歩の林野を焼き困農山村を使用して着々工事進んだ大火のために被つた惨害行中であるが、工事はいづれもは真に名状すべからざるものあ八月下旬竣工の豫定で貧困者登るに於て附近の漁村の不漁續録者川前の五百六十八、三坂、さから全く村民の大半が明日の澤渡組合村の六百四十一人、石生活に窮してゐる有様で、この住、貝泊、荷路夫組合村の四百救済には目下の處同村より江名五十八名、合計一千六百五十九町に通ずる一里餘の路線改修工名、そのうち約五分の二は女登事を起して村民を救ふ以外途な録者となつてゐるが、實際救済し同村青木助役、土木委員二を要する者も三分の一にも充當名は十六日井上、野崎兩縣議等してゐない有様である。同郡鹿島の援助を得て陳情書を携へ出福島村の如きは耕地面積中約四分縣當局に對して右道路改修の實の一は他町村の地主に制せられ現を陳情する處あつた。

理想郷を目標に 勿來振農會活躍

農事改良實行組合組織

勿來町では農に地主と小作人のとして農事改良實行組合を設置協働機關として振農會を組織し十七日同町青年會館において地主は専ら小作人の指導及び援聯合會發會式を兼組合長會を開助方法を講じ年々表彰等を行つた左記案件を附議直に實行するてゐる結果未だに一回の小作問事となつた、現在組合は二十八題さへ惹起した事のない有様で組で人員約五百名に達し、尙増あるが、更に今回平面的な機關の模範であるが、直に實行の

御厩駐在所 改修成る

石城郡内郷村大字御厩巡査駐在所は過般來修築工事中であつたが十八日竣工した。

平警察署 巡閱講評

本縣警察部田中警務課長は二十日平署に來り過般執行した巡閱の講評をなす。

新舞子行 道路完成

石城郡草野村大字下神谷では國道から新舞子に至る道路を改修中であつたが此程完成し完全な自動車道路となつた。

郡山の海水浴客 五百名四倉濱に來る

郡山縣では過般來四倉海水浴場の海水浴客の團体を募集中であつたが、希望者五百名に達したので八月七日臨時列車を仕立て四倉濱に來る旨十九日郡山縣長から四倉長宛通知があつた、四倉町ではこの團体を歓迎すべく目下準備をすゝめてゐる。

平郵便局で 夏期中減便

平郵便局では二十一日から九月まで夏期中左の如く減便する事になつた。

宮城徳丸氏赴任

平稅務署庶務課長宮城徳丸氏は

娘の身の上を案じ 家財を賣つて上京

事實が語る農村悲活

石城郡内郷村神長ツギ(五二)は平上野驛から歩き船橋驛に泣き本年四月一人娘よし(二五)を平込んだ。署員も同情して無料で町の桂庵小林長吉に託して何れ木賃宿へ泊めた上十八日よしのへか女中奉公でもさせ老後の負主人に話して奉公の年限を増し擔を軽くしようとしたが、その十圓を餘分に貸させて郷里へ歸桂庵得たりとばかりよしを連れらせた。

刀秋魚期 制限陳情

本縣水産會では窮乏農村打開の爲の島田卯兵衛、吉田彌十郎、後一時二分平驛發上り列車で山木村倉治の三氏を二十五日上京東省に起任する。

石城山間方部 馬の傳染病發生

石城郡澤渡村大字下市當字北三番地安部安吉所有七歳牝馬、三坂村大字下三坂字坂下二〇番併せて平館に於て上演中の元松地佐藤長次郎所有九歳牝馬は何れも傳染性食血症と判明撲殺する事になつた。

尼子自動車 子供を轢く

平町字二丁目尼子自動車部の平湯本間乗合自動車を十八日午後三時頃警備村生れ木田忠祐(二二)が運轉し内郷村大字小島地内國道を進行中同字安田キヨノ(五三)を轢き倒したので平署で取調中である。

諸口氏歡迎會

併せて石井孝君の當選祝賀會

郡山行團體募集

警備野球後援會では來る二十三日郡山市で舉行される朝日新聞社主催全國中等學校野球大會に出場する警備中學校、平商業學校の兩校選手應援のため郡山行は自動車三臺に分乗し二十三日午前五時半平町出發即日歸平往復とも野崎自動車の大バスに

内郷消防視察

消防組頭佐藤三平氏以下幹部一同は小名濱、江名、豊間の各消防組を視察した。

平郵便局で 夏期中減便

平郵便局では二十一日から九月まで夏期中左の如く減便する事になつた。

諸口氏歡迎會

併せて石井孝君の當選祝賀會

鷄卵相場騰貴

平地方の鷄卵は昨今遽かに高騰し普通小賣相場一貫目一圓十五錢乃至一圓二十錢であつたものが一圓三十錢から粒により一圓四十五錢を唱へ出し一個二錢か二錢五厘、三錢となつた。尙上騰氣配にあるので養鶏家は勿論一般農家は非常に喜んでゐる。此主なる原因は夏季中は毎年上昇の例であるが、今年には潤滑な陽氣安から需要が増加してゐるのと、安價のため一般に放任主義であつたため内地の生産が甚だ振るはなかつたこと共に満州國の確立により支那物が大半同國に廻り勢ひ輸入が減少した結果である

二十錢の小爲替を 二十圓に書直す

紺屋町局で観破

平町字紺屋町郵便局に去る十八日午後三時頃、横越小路磐城便利舎齋藤重次郎が綴局振出しの二十圓小爲替の拂戻方を請求したので局員が調べるに二十錢を二十圓に改竄したものと判明した。平署にその旨届出でた、齋藤方では十八日年齢四十歳前後の男が二圓の買物をなし前記小爲替を出したので十八圓の釣銭を出したものであつた、平署で犯人殿探中である。

石城労働者 共済會 決算

石城労働者共済會は昭和五年三月創立以來各種事業に好成績をおさめたが、今回左の如く決算報告をなした。

▲収入 九七圓七三錢 會費寄附金
▲支出 三三九三圓九三錢 共済費
▲差引 二四九圓二〇錢 欠損金

●受取人のない
●不思議な荷物
●平驛にトランクと行李が驛止となつて半ヶ月も受取人なく同驛小荷物係が持て餘してゐる話

さる四日東京總戸町四ノ二六一星野一の差出人で平驛止同人名宛の小型トランクと行李が上野驛からチツキで送達されたが、その後待てども受取人なく處理に困り十八日驛詰係警官の立合を求め取調たところ數十通の手紙と身廻り品が出たが、女給商賣でもし

てゐたらしくアルバムは男女優サイ入りのプロマイドばかりで東京芝居愛宕町二ノ十一會田雪江名宛の手紙から推して同人ではないかと見られるが、男と同棲生活してゐたが最近男に増す花でも出来て捨てられたのを悲観して死を決意し平方面に來たらしく目下あてのない引取人を搜索中である。

釜屋商店

鼻の薬チクノール
平五 山野邊藥局

氷の御用は

電話四六六七番へ
勿來製氷會社一手販賣

平二丁目 警察署通り 魚清水卸部
江名濱築港内 支店 江名販賣所
電話六十九番

内科 小兒科
花柳病科
藤沼醫院
平町紺屋町
電話平園五〇七番



坊やおち

森 ドライミルク

四季を通じて完全母乳代用品
地方代理店 關内藥局
電話四〇番

ドライは……(粉ミルク)
吾が育児界に誇り得る唯一の國産粉末牛乳で如何に眞夏と雖も長期の保存に堪へお湯さへ加へれば純良、濃厚な色・味香共に勝れし母乳と同じ養價の新鮮牛乳を得られます。

半ポンド 九〇
一ポンド 一七〇
三ポンド 五〇〇

優良種子

各種賣出し致しました。
農園藝藥品の御相談は

西村屋藥局
電話三番

菊地の白靴

涼味百パーセント……菊地の白靴
お若い方にノーマル型
最新角型はモダン好み
お中年のお方は先細型
とてもシックで値が安い
當店自慢のリネンシュー
三、二〇ヨリ……五圓マデ

菊地靴靴店
平四 電話(呼)四三六

例年の通り 氷水 始めました

多少に拘らず御用命御引立の程願上ます。
特 アイスクリーム(山盛) 金十錢
あづきアイス(同) 金五錢
ミルクケーキ(同) 金十五錢
ソーダ水 金十錢
其他氷水各種
出前迅速

藤寅

平町二丁目
電話……一四二番

廣告

●新任外科部長
●内木學士來任
●七月十一日ヨリ毎日診療ニ従事ス

内臓外科 醫學士 内木宗八
整形外科 泌尿器科
昭和七年七月
平町新川町十九番地
外産婦人科 木村病院
電話一六四番

花柳病科 專門

平町六丁目橋際
木村外醫院
電話三〇九番